



キャンドルサービス

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・ろうそくの火を見つめながら、自分や仲間との関係を見つめ直すことができます。
- ・仲間とともに歌・踊り・ゲームなどに取り組み、協力や友愛の精神を高めることができます。

【教科への対応】 小学校：学級活動など 中学校：学級活動など

【組合せ可能な活動プログラム】 ぐるぐる火起こしなど

2 活動の概要

キャンドルの火を囲み、儀式、歌、踊り等を行います。プログラムは団体の実情に応じて様々にアレンジを加えることができます。ゲームやスタンプなど各グループで考えた出し物を組み込むことにより、仲間との協力や親睦を深める活動です。



＜活動の様子＞

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学校3年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5 時間
- (5) 場所 体育館、研修室1・2（30名以下）
- (6) 経費 10円／ろうそく小1本
40円／ろうそく中1本
180円／ろうそく大1本
- (7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団体	救急薬品、スタンプやゲームに使用するもの
個人	特になし
自然の家	燭台大（体育館用）、燭台小（研修室用）、ろうそくホルダー（個人用）、ろうそく（女神用、営火長用、付き人用、班長用、個人用）、衣装（女神、付き人）バケツ水

4 引率者の役割分担

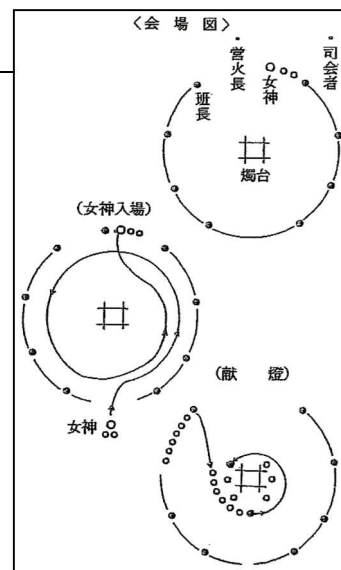
役割名	内 容
代表責任者	1名。活動全体の総括、指揮、連絡にあたる。
用具担当者	1～2名。自然の家から貸し出す用具類の管理を行う。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

※実施上の役割（例）

役割名	活動内容	備 考
営火長	・団体を代表する人で「火の話」を担当する。	・1名(引率者が望ましい)
司会者	・プログラム全体の進行を行う。	・1～2名
ファイヤーキーパー	・ろうそくの火を管理する。	・1～4名
女神・付き人	・親火をはこぶ。	・女神・付き人1～3名
ソングリーダー	・すべての歌をリードする。	・1～4名

5 活動の流れ（例）

	内 容	
説 明	団体の指導者が、児童・生徒等に対して、プログラムの流れや留意点の説明、安全指導等を行う。	
活 動	〈第1部〉儀式的火（約20分）～おごそかに（静）～ 入場・整列 はじめの歌 女神入場 営火長のことば 誓いの火点灯 献 灯 夜 の 歌 ・入場時に入口でろうそくを渡す。 ・「遠き山に日は落ちて」を歌う。（歌→ハミング） ・歌の途中で入場し、所定の位置（営火長の前）につく。 ・聖火を受け取り火の話をする。 ・各班長は、その場から一歩前に出る。 ・営火長は、各班長に点火する。 ・班長は誓いの火を仲間に点火する。 ・営火長、女神、付き人の次に班ごとに中央の燭台を囲み、班長の献詞（誓いのことば）で一斉に献灯する。 ・全員の献灯が終了すると同時に「一日の終わり」を歌う。（1番の歌詞→ハミング） ※歌の終了とともに司会者は第1部の終了と第2部の始まりを告げる。	
	〈第2部〉親睦の火（約55分）～楽しく元氣よく（動）～ 【体育館の場合】 ★歌・ダンス・ゲームなどで盛り上がる （歌）ノリのよい体を動かせるような曲など （ダンス）フォークダンスなど （ゲーム）「進化ゲーム」など体を動かせるもの 【研修室1・2の場合】 ★歌・ダンス・ゲームなどで盛り上がる （歌）ノリのよい手拍子などができる曲など （ダンス）その場で手や足を動かせるようなもの （ゲーム）「いすとりゲーム」など動きが最小限のもの	
	〈第3部〉儀式的火（約15分）～おごそかに（静）～ おわりの歌 児童・生徒の 別れの歌 営火長のことば 誓いの火消灯 退 場 ・女神は付き人とともに衣装を整え、親火をもって所定の場所に立つ。 ・「一日の終わり」を歌う。（2番の歌詞→ハミング（静かな雰囲気）） ・児童生徒の感想（自分の場所から2歩前に出て） ・「校歌」「今日の日さようなら」など歌う。（思いを込めて） ・親火を受け取り火の話をする。 ・営火長のお話のあと班長は一斉に燭台へ進み自分のろうそくを持ち帰る。 ・ファイヤーキーパーは燭台の火を静かに消していく。 ・営火長、女神、付き人、各班の順で退場する。	
終了後	あとしまつ	・会場の清掃 ・ろうそくの回収 ・燭台のあとしまつ

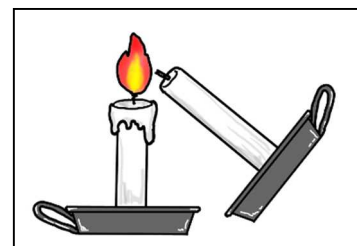


6 実施上の留意点

- ・引率指導者と自然の家職員とで会場準備について事前打合せをする。
- ・児童生徒の役割を事前に決めておく。

7 安全に実施するためのポイント

- ・ろうそくの火を移すときは、火の付いていないろうそくを傾けて火を移す。
- ・献灯するときは、燭台の中央からろうそくを置く。
- ・燭台の近くに火傷防止用のバケツ水（1～4個）を置く。
- ・燭台の周囲で走り回ったりしないように注意する。
- ・30分に1回は換気をする（特に研修室）。



〈火のもらい方〉

8 資料へのリンク

キャンドルサービスの詳しい資料は、ホームページのトップページ「活動プログラム一覧」バナーから入り、「野外活動プログラム」「キャンドルサービス」の項からリンクがある。